

カリキュラムマップ (第1学年)

区 分	授 業 科 目	学 期	医 学 知 識		臨 床 能 力		プ ロ グ ラ ム シ ョ ナ リ ズ ム		能動的学修能力		リ サ イ ー ン ・ チ ・ ド		社 会 的 視 野		人 間 性	
			人体の構造と機能、種々の疾患の原因や病態などに関する正しい知識に基づいて臨床推論を行い、他者に説明することができる。	種々の疾患の診断や治療、予防について原理や特徴を含めて理解し、他者に説明することができる。	卒後臨床研修において求められる診療技能を身に付け、正しく実践することができる。	医療安全や感染防止に配慮した診療を実践することができる。	医師としての良識と倫理観を身に付け、患者やその家族に対して誠意と思いやりのある医療を実践することができる。	医師としてのコミュニケーション能力と協調性を身に付け、患者やその家族、あるいは他の医療従事者と適切な人間関係を構築することができる。	医師としての内発的モチベーションに基づいて自己研鑽や生涯学修に努めることができる。	書籍や種々の資料、情報通信技術（ICT）などの利用法を理解し、自らの学修に活用することができる。	最新の医学情報や医療技術に関心を持ち、専門的議論に参加することができる。	自らも医学や医療の進歩に寄与しようとする意欲を持ち、実践することができる。	保健医療行政の動向や医師に対する社会ニーズを理解し、自らの行動に反映させることができる。	医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け、自らの行動に反映させることができる。	医師に求められる幅広い教養を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。	多様な価値観に対応できる豊かな人間性を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。
必	教 養 医 科 学	1学期					◎		○			○		◎	○	
	これからの時代を 生き抜くための 医師のキャリアプラン	通年							◎		○	◎	○		○	
	メ デ イ カ ル ・ プロフェッショナルリズムⅠ	通年					◎	◎	○	○		○		◎	◎	
	スタディ・スキルズ	1学期					◎	◎	○	○				◎	◎	
	地 域 医 療 学	1,2学期	○	○			○	○		○		◎	○	◎	○	
	コミュニティヘルス インターンシップ（CHI） （地域医療早期体験実習）	1学期	○	○		○	○		○		◎		◎	◎		
	医学情報リテラシー	1学期					○	○	○	◎	○	○		○		
	ス ポ ー ツ 科 学	1,2学期												○	◎	
	総 合 英 語 AI	通年											◎			
	総 合 英 語 B	1,2学期					○	○					○	◎	○	
修	医 学 英 語 I	1学期					○	○					○	◎	○	
	数 学	1学期							◎					◎		
	人 体 の 物 理 学	1,2学期							◎	○				○		
	生体関連化学基礎	1,2学期	◎						○		○			○		
	物 質 の 科 学	1,2学期	◎						○	○						
	細 胞 の 生 物 学Ⅰ	1学期	◎							○						
	外 科 入 門	2学期			○	○					○					
	早期臨床体験実習	2学期					◎		◎			○				
	総 合 英 語 AⅡ	2学期										◎				

カリキュラムマップ (第1学年)

区 分	授 業 科 目	学 期	医 学 知 識		臨 床 能 力		プ ロ グ ラ ム シ ョ ナ リ ズ ム		能動的学修能力		リ サ イ ー ン チ ・ ド マ イ		社 会 的 視 野		人 間 性	
			人体の構造と機能、種々の疾患の原因や病態などに関する正しい知識に基づいて臨床推論を行い、他者に説明することができる。	種々の疾患の診断や治療、予防について原理や特徴を含めて理解し、他者に説明することができる。	卒後臨床研修において求められる診療技能を身に付け、正しく実践することができる。	医療安全や感染防止に配慮した診療を実践することができる。	医師としての良識と倫理観を身に付け、患者やその家族に対して誠意と思いやりのある医療を実践することができる。	医師としてのコミュニケーション能力と協調性を身に付け、患者やその家族、あるいは他の医療従事者と適切な人間関係を構築することができる。	医師としての内発的モチベーションに基づいて自己研鑽や生涯学修に努めることができる。	書籍や種々の資料、情報通信技術（ICT）などの利用法を理解し、自らの学修に活用することができる。	最新の医学情報や医療技術に関心を持ち、専門的議論に参加することができる。	自らも医学や医療の進歩に寄与しようとする意欲を持ち、実践することができる。	保健医療行政の動向や医師に対する社会ニーズを理解し、自らの行動に反映させることができる。	医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け、自らの行動に反映させることができる。	医師に求められる幅広い教養を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。	多様な価値観に対応できる豊かな人間性を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。
必修	細胞の生物学Ⅱ	2学期	◎						○							
	物理学実験	2学期						◎	○					○		
	化学実験	2学期	○		○		◎		○	○				○		
	生物学実習	2学期	◎													
	統計学	2,3学期						◎		○	◎			○		
	総合英語AⅢ	3学期										◎				
	PBLテュートリアルⅠ	3学期					○	◎						○		○
	解剖学概論	3学期	◎	○					○	○	○	○				
	骨学・筋学	3学期	◎						○	○						
	組織学総論	3学期	◎	○						○						
	人体の発生学	3学期	◎	○						○						
	生理学総論と生体の情報	3学期	◎	○					○	○	○					
生体分子とその代謝	3学期	◎						○	○	○	○					
人文自然選択Ⅰ	社会思想史	1学期							○	○				◎		◎
	異文化間コミュニケーション	1学期					○	○					○	◎		○
	異文化理解－ヨーロッパ編	1学期						○	○	◎				◎		○
	文章の論理	1学期						◎						○		
	異文化理解－中国編	1学期						◎	○	○			◎	◎		◎
	Ⅰ文	1学期												◎		○

カリキュラムマップ (第1学年)

区分	授業科目	学期	医学知識		臨床能力		プロフェッショナルリズム		能動的学修能力		リサーチ・マインド		社会的視野		人間性	
			人体の構造と機能、種々の疾患の原因や病態などに関する正しい知識に基づいて臨床推論を行い、他者に説明することができる。	種々の疾患の診断や治療、予防について原理や特徴を含めて理解し、他者に説明することができる。	卒後臨床研修において求められる診療技能を身に付け、正しく実践することができる。	医療安全や感染防止に配慮した診療を実践することができる。	医師としての良識と倫理観を身に付け、患者やその家族に対して誠意と思いやりのある医療を実践することができる。	医師としてのコミュニケーション能力と協調性を身に付け、患者やその家族、あるいは他の医療従事者と適切な人間関係を構築することができる。	医師としての内発的モチベーションに基づいて自己研鑽や生涯学修に努めることができる。	書籍や種々の資料、情報通信技術（ICT）などの利用法を理解し、自らの学修に活用することができる。	最新の医学情報や医療技術に関心を持ち、専門的議論に参加することができる。	自らの医学や医療の進歩に寄与しようとする意欲を持ち、実践することができる。	保健医療行政の動向や医師に対する社会ニーズを理解し、自らの行動に反映させることができる。	医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け、自らの行動に反映させることができる。	医師に求められる幅広い教養を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。	多様な価値観に対応できる豊かな人間性を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。
人文自然選択Ⅰ	ドイツ文学	1学期													○	◎
	生命現象を考える	1学期								○		○			◎	
	フィクションとファクトから学ぶ医療倫理	1学期					◎	○			○				○	○
	化学実験初歩	1学期							◎	○						
	薬用・有毒植物図鑑をつくろう！	1学期	○							○					◎	○
	発生・生殖生物学	1学期							○						◎	◎
	健康科学	1学期							◎	○					○	
	アダプテッド・スポーツ	1学期					○	○	○	○			○		○	◎
	心理学と医療	1学期					○	○							○	◎
	分子生理学入門－遺伝子改造への道	1学期									○	◎				
	がん細胞を扱おう	1学期	◎	○					◎	◎	◎	◎				
	生命倫理と社会の課題を考えよう	1学期					◎						○		○	◎
	医学・生物学研究のためのプロレゴメナ	1学期					○			○	○	◎			○	○
	医療と人間・文化・社会	1学期					○	○					○		○	◎
人文自然選択Ⅱ	名画で鍛える診療のエッセンス	1学期	○		○			○	◎	○					◎	◎
	医療と人権	2学期							○	○			○	○	◎	◎
	異文化間コミュニケーション	2学期					○	○					○		◎	○

カリキュラムマップ (第1学年)

区分	授業科目	学期	医学知識		臨床能力		プロフェッショナルリズム		能動的学修能力		リサーチ・マインド		社会的視野		人間性	
			人体の構造と機能、種々の疾患の原因や病態などに関する正しい知識に基づいて臨床推論を行い、他者に説明することができる。	種々の疾患の診断や治療、予防について原理や特徴を含めて理解し、他者に説明することができる。	卒後臨床研修において求められる診療技能を身に付け、正しく実践することができる。	医療安全や感染防止に配慮した診療を实践することができる。	医師としての良識と倫理観を身に付け、患者やその家族に対して誠意と思いやりのある医療を实践することができる。	医師としてのコミュニケーション能力と協調性を身に付け、患者やその家族、あるいは他の医療従事者と適切な人間関係を構築することができる。	医師としての内発的モチベーションに基づいて自己研鑽や生涯学修に努めることができる。	書籍や種々の資料、情報通信技術（ICT）などの利用法を理解し、自らの学修に活用することができる。	最新の医学情報や医療技術に関心を持ち、専門的議論に参加することができる。	自らの医学や医療の進歩に寄与しようとする意欲を持ち、実践することができる。	保健医療行政の動向や医師に対する社会ニーズを理解し、自らの行動に反映させることができる。	医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け、自らの行動に反映させることができる。	医師に求められる幅広い教養を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。	多様な価値観に対応できる豊かな人間性を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。
人文自然選択	イギリス文学概観	2学期					○	○		○				○	◎	○
	異文化理解－ヨーロッパ編 旅、文化、歴史	2学期						○	○	◎					◎	○
	失敗の考察	2学期					○		◎		○		◎			
	中国語－音読	2学期						○	○	○			○		○	○
	『ハムレット』の独白を読む	2学期													◎	○
	ガストロノミーとフランス文学	2学期						○							○	○
	ドイツ文学	2学期													○	◎
	生命現象を考える	2学期								○		○			◎	
	化学実験初歩	2学期							◎	○						
	薬用・有毒植物図鑑をつくろう！	2学期	○							○					◎	○
	発生・生殖生物学	2学期							○	○					◎	◎
	線形代数の基礎	2学期							◎						○	
	健康科学	2学期							◎	○					○	
	臨床心理学	2学期					○	○							○	◎
	医学と生化学	2学期	○						◎	○	○	○	○		○	○
Ⅱ	日本発の医療・創薬を学ぶ	2学期	○							○		◎				
	がん細胞を扱おう	2学期	◎	○					◎	◎	◎	◎				
	遺伝子工学入門：光る大腸菌をつくろう！	2学期								◎	○					

カリキュラムマップ (第1学年)

[illegible]

カリキュラムマップ (第1学年)

区 分	授 業 科 目	学 期	医 学 知 識		臨 床 能 力		プ ロ フ ェ ッ シ ョ ナ リ ズ ム		能動的学修能力		リ サ ー チ ・ マ イ ン ド		社 会 的 視 野		人 間 性	
			人体の構造と機能、種々の疾患の原因や病態などに関する正しい知識に基づいて臨床推論を行い、他者に説明することができる。	種々の疾患の診断や治療、予防について原理や特徴を含めて理解し、他者に説明することができる。	卒後臨床研修において求められる診療技能を身に付け、正しく実践することができる。	医療安全や感染防止に配慮した診療を実践することができる。	医師としての良識と倫理観を身に付け、患者やその家族に対して誠意と思いやりのある医療を実践することができる。	医師としてのコミュニケーション能力と協調性を身に付け、患者やその家族、あるいは他の医療従事者と適切な人間関係を構築することができる。	医師としての内発的モチベーションに基づいて自己研鑽や生涯学修に努めることができる。	書籍や種々の資料、情報通信技術（ICT）などの利用法を理解し、自らの学修に活用することができる。	最新の医学情報や医療技術に関心を持ち、専門的議論に参加することができる。	自らの医学や医療の進歩に寄与しようとする意欲を持ち、実践することができる。	保健医療行政の動向や医師に対する社会ニーズを理解し、自らの行動に反映させることができる。	医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け、自らの行動に反映させることができる。	医師に求められる幅広い教養を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。	多様な価値観に対応できる豊かな人間性を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。
人 文 自 然 選 択 Ⅲ	ガストロノミーとフランス文学	3学期					○								○	○
	ドイツ文学（読解）	3学期													○	◎
	感じて、見て、考える、放射線の基礎	3学期				○		○	◎	○					○	○
	生命現象を考える	3学期								○		○			◎	
	フィクションとファクトから学ぶ医療倫理	3学期					◎	○			○				○	○
	化学実験初歩	3学期							◎	○						
	大学構内の自然観察	3学期	○												◎	○
	発生・生殖生物学	3学期							○	○					◎	◎
	スポーツ医学について学ぶ	3学期							◎		○		○		○	
	発達心理学	3学期					○	○							○	◎
語 学 選 択	医療倫理と決断の悩ましさを考えよう	3学期				◎							○		○	◎
	工学発展と医学研究	3学期					○			○	○	◎				
語 学 選 択	名画で鍛える診療のエッセンス	3学期	○		○		○	◎	○						◎	◎
	ド イ ツ 語	通年							○	○				◎	○	◎
	フ ラ ン ス 語	通年							○	○				◎	○	◎
	中 国 語	通年							○	○				◎	○	◎
語 学 選 択	ロ シ ア 語	通年							○	○				◎	○	◎

カリキュラムマップ (第1学年)

区 分	授 業 科 目	学 期	医 学 知 識		臨 床 能 力		プ ロ フ ェ ッ シ ョ ナ リ ズ ム		能動的学修能力		リ サ ー チ ・ マ イ ン ド		社 会 的 視 野		人 間 性	
			人体の構造と機能、種々の疾患の原因や病態などに関する正しい知識に基づいて臨床推論を行い、他者に説明することができる。	種々の疾患の診断や治療、予防について原理や特徴を含めて理解し、他者に説明することができる。	卒後臨床研修において求められる診療技能を身に付け、正しく実践することができる。	医療安全や感染防止に配慮した診療を实践することができる。	医師としての良識と倫理観を身に付け、患者やその家族に対して誠意と思いやりのある医療を实践することができる。	医師としてのコミュニケーション能力と協調性を身に付け、患者やその家族、あるいは他の医療従事者と適切な人間関係を構築することができる。	医師としての内発的モチベーションに基づいて自己研鑽や生涯学修に努めることができる。	書籍や種々の資料、情報通信技術（ICT）などの利用法を理解し、自らの学修に活用することができる。	最新の医学情報や医療技術に関心を持ち、専門的議論に参加することができる。	自らの医学や医療の進歩に寄与しようとする意欲を持ち、実践することができる。	保健医療行政の動向や医師に対する社会ニーズを理解し、自らの行動に反映させることができる。	医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け、自らの行動に反映させることができる。	医師に求められる幅広い教養を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。	多様な価値観に対応できる豊かな人間性を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。
自 由 選 択	医学研究室配属Ⅰ	通年	○	○				◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	地域包括医療実習Ⅰ		○	○			○	○	○	○			◎		◎	◎
	物理学（基礎・演習）								◎	○					○	○
	物質の科学演習	1,2学期	○						◎	○						
	実践で学ぶロジカル・プレゼンテーション	2,3学期					◎	○		○	○				○	○
	化 学 基 礎	1学期	○						◎							
	病 理 学 演 習		◎	◎				◎	◎	◎	○	○	○	○	◎	◎
	細胞の生物学Ⅰ勉強会	1学期	◎							○						
	細胞の生物学Ⅱ勉強会	2学期	◎							○						
	やさしくわかる臨床疫学・統計解析										○	○	○		○	
	再 生 医 学 入 門			○							◎	○				
	読 書 会						◎	○	◎	◎					◎	○
	失敗しない医学の学び方	1学期					○	○	◎	○	○				○	○
	「エビデンス」とは何か？クリティカルシンキングを身に付ける			○					○	○	◎	○				
	生 殖 学		◎	◎			○		○	○	○				○	
	最先端分子医学研究入門-目指せ、世界の研究医！難病解明へ挑む-		○	○					○	○	◎	◎		○	○	○
	眼 科 学		○						○						◎	○

カリキュラムマップ (第2学年)

区分	授業科目	学期	医学知識		臨床能力		プロフェッショナルリズム		能動的学修能力		リサーチ・マインド		社会的視野		人間性	
			人体の構造と機能、種々の疾患の原因や病態などに関する正しい知識に基づいて臨床推論を行い、他者に説明することができる。	種々の疾患の診断や治療、予防について原理や特徴を含めて理解し、他者に説明することができる。	卒後臨床研修において求められる診療技能を身に付け、正しく実践することができる。	医療安全や感染防止に配慮した診療を実践することができる。	医師としての良識と倫理観を身に付け、患者やその家族に対して誠意と思いやりのある医療を実践することができる。	医師としてのコミュニケーション能力と協調性を身に付け、患者やその家族、あるいは他の医療従事者と適切な人間関係を構築することができる。	医師としての内発的モチベーションに基づいて自己研鑽や生涯学修に努めることができる。	書籍や種々の資料、情報通信技術（ＩＣＴ）などの利用法を理解し、自らの学修に活用することができる。	最新の医学情報や医療技術に関心を持ち、専門的議論に参加することができる。	自らの医学や医療の進歩に寄与しようとする意欲を持ち、実践することができる。	保健医療行政の動向や医師に対する社会ニーズを理解し、自らの行動に反映させることができる。	医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け、自らの行動に反映させることができる。	医師に求められる幅広い教養を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。	多様な価値観に対応できる豊かな人間性を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。
必修	英語ⅡL	通年													○	◎
	英語ⅡR	通年					○	○						○	◎	○
	医学英語Ⅱ	2,3学期	○	○				◎	○	○	○	○		◎	◎	○
	生体分子とその代謝	1学期	◎						○	○	○	○				
	解剖学各論Ⅰ	1学期	◎	○	○		◎		◎	○					○	
	解剖学実習	1学期	◎	○			◎	◎			○					
	解剖学各論Ⅱ	1学期	◎	○						○						
	組織学実習	1学期	◎	○						○						
	植物性機能生理学Ⅰ	1学期	◎	○					○	○	○					
	分子生物学	1学期	◎	○							○					
	消化吸収と栄養の代謝	2学期	◎	◎					◎	◎	◎	◎			◎	◎
	神経生理学	2学期	◎	○					○	○	○					
	植物性機能生理学Ⅱ	2学期	◎	○					○	○	○					

カリキュラムマップ (第2学年)

[illegible]

カリキュラムマップ (第2学年)

区分	授業科目	学期	医学知識		臨床能力		プロフェッショナルリズム		能動的学修能力		リサーチ・マインド		社会的視野		人間性	
			人体の構造と機能、種々の疾患の原因や病態などに関する正しい知識に基づいて臨床推論を行い、他者に説明することができる。	種々の疾患の診断や治療、予防について原理や特徴を含めて理解し、他者に説明することができる。	卒後臨床研修において求められる診療技能を身に付け、正しく実践することができる。	医療安全や感染防止に配慮した診療を実践することができる。	医師としての良識と倫理観を身に付け、患者やその家族に対して誠意と思いやりのある医療を実践することができる。	医師としてのコミュニケーション能力と協調性を身に付け、患者やその家族、あるいは他の医療従事者と適切な人間関係を構築することができる。	医師としての内発的モチベーションに基づいて自己研鑽や生涯学修に努めることができる。	書籍や種々の資料、情報通信技術（ICT）などの利用法を理解し、自らの学修に活用することができる。	最新の医学情報や医療技術に関心を持ち、専門的議論に参加することができる。	自らの医学や医療の進歩に寄与しようとする意欲を持ち、実践することができる。	保健医療行政の動向や医師に対する社会ニーズを理解し、自らの行動に反映させることができる。	医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け、自らの行動に反映させることができる。	医師に求められる幅広い教養を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。	多様な価値観に対応できる豊かな人間性を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。
必修	医動物学実習	3学期	◎	○												
	免疫学	3学期	◎							○	○	○				
自由選択	医学研究室配属Ⅱ	通年	○	○				◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	地域包括医療実習Ⅱ		○	○	○		◎	◎	○	○			◎		◎	◎
	ステップアップ語								○					◎	◎	○
	ロシア語ステップアップ講座								○					◎	○	◎
	ステップアップ語						○	○	○					◎	◎	◎
	アニョハセヨ！韓国語							○	○	○				○	○	○
	病理学演習		◎	◎				◎	◎	◎	○	○	○	○	◎	◎
	やさしくわかる臨床疫学・統計解析										○	○			○	
	再生医学入門			○							◎	○				
	眼科学		○						○						◎	○

カリキュラムマップ (第3学年)

区分	授業科目	学期	医学知識		臨床能力		プロフェッショナルリズム		能動的学修能力		リサーチ・マインド		社会的視野		人間性	
			人体の構造と機能、種々の疾患の原因や病態などに関する正しい知識に基づいて臨床推論を行い、他者に説明することができる。	種々の疾患の診断や治療、予防について原理や特徴を含めて理解し、他者に説明することができる。	卒後臨床研修において求められる診療技能を身に付け、正しく実践することができる。	医療安全や感染防止に配慮した診療を実践することができる。	医師としての良識と倫理観を身に付け、患者やその家族に対して誠意と思いやりのある医療を実践することができる。	医師としてのコミュニケーション能力と協調性を身に付け、患者やその家族、あるいは他の医療従事者と適切な人間関係を構築することができる。	医師としての内発的モチベーションに基づいて自己研鑽や生涯学修に努めることができる。	書籍や種々の資料、情報通信技術（ＩＣＴ）などの利用法を理解し、自らの学修に活用することができる。	最新の医学情報や医療技術に関心を持ち、専門的議論に参加することができる。	自らの医学や医療の進歩に寄与しようとする意欲を持ち、実践することができる。	保健医療行政の動向や医師に対する社会ニーズを理解し、自らの行動に反映させることができる。	医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け、自らの行動に反映させることができる。	医師に求められる幅広い教養を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。	多様な価値観に対応できる豊かな人間性を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。
必修	医学英語Ⅲ	1学期	◎	○				◎	○	○	○				○	
	薬理学Ⅱ	1学期		◎							○					
	医動物学	1学期	◎	○												
	医動物学実習	1学期	◎	○												
	免疫学	1学期	◎							○	○	○				
	消化器	1学期	◎	◎	◎	○			○	○						
	循環器	1学期				○	○	◎					○	○	○	◎
	一般外科	1学期	○	◎	◎						○				○	
	衛生学	1学期		○		○	○						○	○	◎	
	医学研究実習（アドバンスト）	1学期	◎	◎			○	○	◎	◎	◎	◎	○	○	○	○
	メデイカル・プロフェッショナルリズムⅢ	1学期					◎	◎	○	○		○	○		◎	◎
	薬理学実習	2学期		◎			○									
	予防医学・臨床疫学	2学期							◎	◎	◎	◎				
	呼吸器	2学期	◎	◎					○	○						
	脳・神経	2学期	◎	○							○					
	内分泌・代謝	2学期		○			○		◎			○	○			

カリキュラムマップ (第3学年)

区分	授業科目	学期	医学知識		臨床能力		プロフェッショナルリズム		能動的学修能力		リサーチ・マインド		社会的視野		人間性	
			人体の構造と機能、種々の疾患の原因や病態などに関する正しい知識に基づいて臨床推論を行い、他者に説明することができる。	種々の疾患の診断や治療、予防について原理や特徴を含めて理解し、他者に説明することができる。	卒後臨床研修において求められる診療技能を身に付け、正しく実践することができる。	医療安全や感染防止に配慮した診療を実践することができる。	医師としての良識と倫理観を身に付け、患者やその家族に対して誠意と思いやりのある医療を実践することができる。	医師としてのコミュニケーション能力と協調性を身に付け、患者やその家族、あるいは他の医療従事者と適切な人間関係を構築することができる。	医師としての内発的モチベーションに基づいて自己研鑽や生涯学修に努めることができる。	書籍や種々の資料、情報通信技術（ＩＣＴ）などの利用法を理解し、自らの学修に活用することができる。	最新の医学情報や医療技術に関心を持ち、専門的議論に参加することができる。	自らの医学や医療の進歩に寄与しようとする意欲を持ち、実践することができる。	保健医療行政の動向や医師に対する社会ニーズを理解し、自らの行動に反映させることができる。	医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け、自らの行動に反映させることができる。	医師に求められる幅広い教養を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。	多様な価値観に対応できる豊かな人間性を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。
必修	耳鼻・咽喉・口腔	2学期	◎				○	○	○		○				○	
	放射線医学	2学期	◎	○	◎	○	○	○			○					
	アドバンストコミュニティヘルスインターンシップ (ACHI)	2学期					○	○	○	○			○		○	○
	衛生学実習	3学期		○		○				○					◎	
	血液・造血器	3学期	◎	◎					○	○	○	○				
	産科婦人科学	3学期		◎	○				○	○						
	腎・泌尿器	3学期	◎									○			○	○
	小児医学	3学期	○	◎					○		○					
	運動器	3学期	◎	◎			○	○	○	○						
	アレルギー・膠原病	3学期	◎	◎	○				○	○	○					
	感染症	3学期	○	○	○	◎					○		○			
	病理学各論Ⅰ	1学期	◎	○		○			○	○					○	○
	病理学各論Ⅱ	2学期	◎	○		○			○	○					○	○
	病理学各論Ⅲ	3学期	◎	○		○			○	○					○	○
	病理学各論実習	通年	◎	○					○	○	○				○	○

カリキュラムマップ (第3学年)

区分	授業科目	学期	医学知識		臨床能力		プロフェッショナルリズム		能動的学修能力		リサーチ・マインド		社会的視野		人間性	
			人体の構造と機能、種々の疾患の原因や病態などに関する正しい知識に基づいて臨床推論を行い、他者に説明することができる。	種々の疾患の診断や治療、予防について原理や特徴を含めて理解し、他者に説明することができる。	卒後臨床研修において求められる診療技能を身に付け、正しく実践することができる。	医療安全や感染防止に配慮した診療を実践することができる。	医師としての良識と倫理観を身に付け、患者やその家族に対して誠意と思いやりのある医療を実践することができる。	医師としてのコミュニケーション能力と協調性を身に付け、患者やその家族、あるいは他の医療従事者と適切な人間関係を構築することができる。	医師としての内発的モチベーションに基づいて自己研鑽や生涯学修に努めることができる。	書籍や種々の資料、情報通信技術（ICT）などの利用法を理解し、自らの学修に活用することができる。	最新の医学情報や医療技術に関心を持ち、専門的議論に参加することができる。	自らの医学や医療の進歩に寄与しようとする意欲を持ち、実践することができる。	保健医療行政の動向や医師に対する社会ニーズを理解し、自らの行動に反映させることができる。	医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け、自らの行動に反映させることができる。	医師に求められる幅広い教養を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。	多様な価値観に対応できる豊かな人間性を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。
自由選択	医学研究室配属Ⅲ	通年	○	○				◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	地域包括医療実習Ⅲ		○	○	○	○	◎	◎	○	○			◎		◎	◎
	ステップアップ ドイツ語								○					◎	◎	○
	ロシア語ステップ アップ講座								○					◎	○	◎
	ステップアップ 中国語						○	○	○					◎	◎	◎
	アニョハセヨ！ 韓国語							○	○	○				○	○	○
	病理学演習		◎	◎				◎	◎	◎	○	○	○	○	◎	◎
	やさしくわかる 臨床疫学・統計解析										○	○	○		○	
	再生医学入門			○							◎	○				
	スポーツ整形外科		○	◎					○		○	◎				
	内分泌代謝学			○					○		◎	◎			◎	◎
	病理診断実践演習		◎	◎		○	○	○	◎	◎	○				○	○
	眼科学		○						○						◎	○
	血液・造血器				○							◎			○	
	集中治療医学		◎	○	○	◎	○	○	○	○	○	○			◎	◎

カリキュラムマップ (第4学年)

区分	授業科目	学期	医学知識		臨床能力		プラットフォームシナリズム		能動的学修能力		リサーチ・マインド		社会的視野		人間性	
			人体の構造と機能、種々の疾患の原因や病態などに関する正しい知識に基づいて臨床推論を行い、他者に説明することができる。	種々の疾患の診断や治療、予防について原理や特徴を含めて理解し、他者に説明することができる。	卒後臨床研修において求められる診療技能を身に付け、正しく実践することができる。	医療安全や感染防止に配慮した診療を実践することができる。	医師としての良識と倫理観を身に付け、患者やその家族に対して誠意と思いやりのある医療を実践することができる。	医師としてのコミュニケーション能力と協調性を身に付け、患者やその家族、あるいは他の医療従事者と適切な人間関係を構築することができる。	医師としての内発的モチベーションに基づいて自己研鑽や生涯学修に努めることができる。	書籍や種々の資料、情報通信技術（ＩＣＴ）などの利用法を理解し、自らの学修に活用することができる。	最新の医学情報や医療技術に関心を持ち、専門的議論に参加することができる。	自らも医学や医療の進歩に寄与しようとする意欲を持ち、実践することができる。	保健医療行政の動向や医師に対する社会ニーズを理解し、自らの行動に反映させることができる。	医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け、自らの行動に反映させることができる。	医師に求められる幅広い教養を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。	多様な価値観に対応できる豊かな人間性を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。
必修	医学英語Ⅳ	前期							○	○	○	○	◎			
	公衆衛生学	前期		◎			○	○	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎
	法医学	前期	◎	○	○		○		○				◎		○	○
	眼・視覚	前期		◎		○							○		○	
	皮膚	前期	◎	◎	◎	◎	○	○	○	○	○	○				
	検査医学	前期	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	精神医学	前期	○	○			○	◎							○	○
	麻酔	前期	◎				○	○			○	◎				
	救急医学	前期		◎	○											
	老年医学	前期		◎				○							○	○
	形成・再建	前期		◎			○									
	緩和ケア	前期		◎				○					○		○	○
	東洋医学	前期	○	○	○				○	○	○	○				
	公衆衛生学実習	前期					○	○	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎
	法医学実習	前期	◎		○	○			○		○		◎			
	医療の社会連携・実装科学	前期		○			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	臨床腫瘍学	前期	○	◎					◎	○	○					
	症候学	前期	◎	◎					○	○					○	○

カリキュラムマップ (第4学年)

区分	授業科目	学期	医学知識		臨床能力		プロフェッショナルリズム		能動的学修能力		リサーチ・マインド		社会的視野		人間性	
			人体の構造と機能、種々の疾患の原因や病態などに関する正しい知識に基づいて臨床推論を行い、他者に説明することができる。	種々の疾患の診断や治療、予防について原理や特徴を含めて理解し、他者に説明することができる。	卒後臨床研修において求められる診療技能を身に付け、正しく実践することができる。	医療安全や感染防止に配慮した診療を実践することができる。	医師としての良識と倫理観を身に付け、患者やその家族に対して誠意と思いやりのある医療を実践することができる。	医師としてのコミュニケーション能力と協調性を身に付け、患者やその家族、あるいは他の医療従事者と適切な人間関係を構築することができる。	医師としての内発的モチベーションに基づいて自己研鑽や生涯学修に努めることができる。	書籍や種々の資料、情報通信技術（ICT）などの利用法を理解し、自らの学修に活用することができる。	最新の医学情報や医療技術に関心を持ち、専門的議論に参加することができる。	自らの医学や医療の進歩に寄与しようとする意欲を持ち、実践することができる。	保健医療行政の動向や医師に対する社会ニーズを理解し、自らの行動に反映させることができる。	医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け、自らの行動に反映させることができる。	医師に求められる幅広い教養を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。	多様な価値観に対応できる豊かな人間性を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。
必修	総合診療	前期	◎		◎		○	◎	○				○	○	○	○
	医事法制	前期					◎	○	○				◎		◎	○
	遺伝子と医学	前期	◎	◎	◎		○	○		○			○			
	メディカル・プロフェッショナルリズムⅣ	前期					◎	◎	○							
	臨床推論演習Ⅰ	後期	◎	○							○	○				
	臨床推論演習Ⅱ	後期	◎	◎	◎	○			○	○						
	臨床推論演習Ⅲ	後期	◎	◎	○	○										
	臨床基本実習	後期							◎	◎	○	◎			○	○
自由選択	医学研究室配属Ⅳ	通年	○	○				◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	地域包括医療実習Ⅳ		○	○		○	◎	◎	○	○			◎		◎	◎
	ステップアップドイツ語								○					◎	◎	○
	ロシア語ステップアップ講座								○					◎	○	◎
	ステップアップ中国語						○	○	○					◎	◎	◎
	アニョハセヨ！韓国語						○	○	○					○	○	○

カリキュラムマップ (第4学年)

区分	授業科目	学期	医学知識		臨床能力		プロフェッショナルリズム		能動的学修能力		リサーチ・マインド		社会的視野		人間性	
			人体の構造と機能、種々の疾患の原因や病態などに関する正しい知識に基づいて臨床推論を行い、他者に説明することができる。	種々の疾患の診断や治療、予防について原理や特徴を含めて理解し、他者に説明することができる。	卒後臨床研修において求められる診療技能を身に付け、正しく実践することができる。	医療安全や感染防止に配慮した診療を実践することができる。	医師としての良識と倫理観を身に付け、患者やその家族に対して誠意と思いやりのある医療を実践することができる。	医師としてのコミュニケーション能力と協調性を身に付け、患者やその家族、あるいは他の医療従事者と適切な人間関係を構築することができる。	医師としての内発的モチベーションに基づいて自己研鑽や生涯学修に努めることができる。	書籍や種々の資料、情報通信技術（ICT）などの利用法を理解し、自らの学修に活用することができる。	最新の医学情報や医療技術に関心を持ち、専門的議論に参加することができる。	自らの医学や医療の進歩に寄与しようとする意欲を持ち、実践することができる。	保健医療行政の動向や医師に対する社会ニーズを理解し、自らの行動に反映させることができる。	医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け、自らの行動に反映させることができる。	医師に求められる幅広い教養を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。	多様な価値観に対応できる豊かな人間性を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。
自由選択	病理学演習		◎	◎				◎	◎	◎	○	○	○	○	◎	◎
	やさしくわかる臨床疫学・統計解析										○	○	○		○	
	再生医学入門			○							◎	○				
	生理学・薬理学 CBT対策補習	1学期	◎	◎					○	○						
	消化器内視鏡学		○	◎							○	○				
	スポーツ整形外科		○	◎					○		○	◎				
	内分泌代謝学			○					○		◎	◎			◎	◎
	病理診断実践演習		◎	◎		○	○	○	◎	◎	○				○	○
	眼科学		○						○						◎	○
	スポーツによる中枢神経の外傷			○			○				◎		○		◎	○
	検査値の読み方		◎	◎	◎		◎	○	○	○						
	災害医療						○	◎					○		○	○
	口腔ケア学		○	◎		○						○				
	集中治療医学		◎	○	○	◎	○	○	○	○	○	○			◎	◎

カリキュラムマップ (第5学年)

区分	授業科目	学期	医学知識		臨床能力		プロフェッショナルリズム		能動的学修能力		リサーチ・マインド		社会的視野		人間性	
			人体の構造と機能、種々の疾患の原因や病態などに関する正しい知識に基づいて臨床推論を行い、他者に説明することができる。	種々の疾患の診断や治療、予防について原理や特徴を含めて理解し、他者に説明することができる。	卒後臨床研修において求められる診療技能を身に付け、正しく実践することができる。	医療安全や感染防止に配慮した診療を実践することができる。	医師としての良識と倫理観を身に付け、患者やその家族に対して誠意と思いやりのある医療を実践することができる。	医師としてのコミュニケーション能力と協調性を身に付け、患者やその家族、あるいは他の医療従事者と適切な人間関係を構築することができる。	医師としての内発的モチベーションに基づいて自己研鑽や生涯学修に努めることができる。	書籍や種々の資料、情報通信技術（ICT）などの利用法を理解し、自らの学修に活用することができる。	最新の医学情報や医療技術に関心を持ち、専門的議論に参加することができる。	自らの医学や医療の進歩に寄与しようとする意欲を持ち、実践することができる。	保健医療行政の動向や医師に対する社会ニーズを理解し、自らの行動に反映させることができる。	医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け、自らの行動に反映させることができる。	医師に求められる幅広い教養を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。	多様な価値観に対応できる豊かな人間性を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。
必修	メディカル・プロフェッショナルリズムⅤ	1学期				◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎
自由選択	医学研究室 附属Ⅴ	通年	○	○				◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	ステップアップドイツ語								○					◎	◎	○
	ロシア語ステップアップ講座								○					◎	○	◎
	ステップアップ中国語						○	○	○					◎	◎	◎
	アニョハセヨ！韓国語							○	◎	○				○	○	○
	病理学演習		◎	◎				◎	◎	◎	○	○	○	○	◎	◎
	やさしくわかる臨床疫学・統計解析										○	○	○		○	
	再生医学入門			○							◎	○				
	消化器内視鏡学		○	◎							○	○				
	スポーツ整形外科		○	◎					○		○	◎				
	高齢者肺がんに対するサポート介入を考える							◎							○	
	病理診断実践演習		◎	◎		○	○	○	◎	◎	○				○	○
	スポーツによる中枢神経の外傷			○			○				◎		○		◎	○
	集中治療医学		◎	○	○	◎	○	○	○	○	○	○			◎	◎

カリキュラムマップ (第6学年)

区分	授業科目	学期	医学知識		臨床能力		プロフェッショナルリズム		能動的学修能力		リサーチ・マインド		社会的視野		人間性	
			人体の構造と機能、種々の疾患の原因や病態などに関する正しい知識に基づいて臨床推論を行い、他者に説明することができる。	種々の疾患の診断や治療、予防について原理や特徴を含めて理解し、他者に説明することができる。	卒後臨床研修において求められる診療技能を身に付け、正しく実践することができる。	医療安全や感染防止に配慮した診療を実践することができる。	医師としての良識と倫理観を身に付け、患者やその家族に対して誠意と思いやりのある医療を実践することができる。	医師としてのコミュニケーション能力と協調性を身に付け、患者やその家族、あるいは他の医療従事者と適切な人間関係を構築することができる。	医師としての内発的モチベーションに基づいて自己研鑽や生涯学修に努めることができる。	書籍や種々の資料、情報通信技術（ＩＣＴ）などの利用法を理解し、自らの学修に活用することができる。	最新の医学情報や医療技術に関心を持ち、専門的議論に参加することができる。	自らも医学や医療の進歩に寄与しようとする意欲を持ち、実践することができる。	保健医療行政の動向や医師に対する社会ニーズを理解し、自らの行動に反映させることができる。	医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け、自らの行動に反映させることができる。	医師に求められる幅広い教養を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。	多様な価値観に対応できる豊かな人間性を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。
必修	メデイカル・プロフェッショナルリズムⅥ	1学期			○	◎	◎	◎					◎	◎	◎	◎
カテゴリーⅠ	循環器疾患		◎	◎			○	○		◎					○	○
	呼吸器疾患		◎	◎						○	○					
	消化器系疾患		◎	◎	◎				○	○						
カテゴリーⅡ	血液・造血器疾患		◎	◎	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎				
	アレルギー・膠原病疾患		◎	◎	○				○		○	○				
	精神・神経系疾患		○	○			○	◎							○	○
	内分泌・代謝疾患			○			○		◎			○	○			
	感染症・感染制御		◎	○	○	○			○	○	○		○	○	○	
カテゴリーⅢ	産科婦人科疾患		○	◎	○											
	成長・発達疾患		○	◎					○	○						
	運動器疾患		◎	◎			○	○	○	○						
	救急医学			◎	○											
	腎・泌尿器疾患						◎	○							○	○
	総合診療		◎	○	○	○	◎	◎	○		○	○				◎
カテゴリーⅣ	皮膚・頭頸部疾患		◎	◎	◎	◎	○	○	○	○	○	○				
	公衆衛生			◎			○	○	○	○			○	○	◎	○
	総合画像診断		◎	◎	◎		○				○					

カリキュラムマップ (第6学年)

区分	授業科目	学期	医学知識		臨床能力		プロフェッショナルリズム		能動的学修能力		リサーチ・マインド		社会的視野		人間性	
			人体の構造と機能、種々の疾患の原因や病態などに関する正しい知識に基づいて臨床推論を行い、他者に説明することができる。	種々の疾患の診断や治療、予防について原理や特徴を含めて理解し、他者に説明することができる。	卒後臨床研修において求められる診療技能を身に付け、正しく実践することができる。	医療安全や感染防止に配慮した診療を実践することができる。	医師としての良識と倫理観を身に付け、患者やその家族に対して誠意と思いやりのある医療を実践することができる。	医師としてのコミュニケーション能力と協調性を身に付け、患者やその家族、あるいは他の医療従事者と適切な人間関係を構築することができる。	医師としての内発的モチベーションに基づいて自己研鑽や生涯学修に努めることができる。	書籍や種々の資料、情報通信技術（ＩＣＴ）などの利用法を理解し、自らの学修に活用することができる。	最新の医学情報や医療技術に関心を持ち、専門的議論に参加することができる。	自らも医学や医療の進歩に寄与しようとする意欲を持ち、実践することができる。	保健医療行政の動向や医師に対する社会ニーズを理解し、自らの行動に反映させることができる。	医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け、自らの行動に反映させることができる。	医師に求められる幅広い教養を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。	多様な価値観に対応できる豊かな人間性を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。
自由選択	医学研究室配属Ⅵ	通年	○	○				◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	病理学演習		◎	◎				◎	◎	◎	○	○	○	○	◎	◎
	やさしくわかる臨床疫学・統計解析										○	○	○		○	
	再生医学入門			○							◎	○				
	消化器内視鏡学		○	◎							○	○				
	スポーツ整形外科		○	◎					○		○	◎				
	病理診断実践演習		◎	◎		○	○	○	◎	◎	○				○	○
	スポーツによる中枢神経の外傷			○			○				◎		○		◎	○
	集中治療医学		◎	○	○	◎	○	○	○	○	○	○			◎	◎